

北海道網走地方におけるコノドジロムシクイ *Sylvia curruca* の初記録

城石 一徹

日本野鳥の会オホーツク支部, 099-3452 北海道斜里郡小清水町72-25

SHIROISHI Ittetsu: First record of Lesser Whitethroat *Sylvia curruca* in Abashiri District, Hokkaido, northern Japan

*✉ tetsu_tetsu_ittetsu@yahoo.co.jp

Lesser Whitethroat *Sylvia curruca* was observed at Koshimizu Town, Abashiri District, Hokkaido, northern Japan from 21 to 31 December 2019. This report is a first observational record of the species at the Abashiri District.

Keywords Lesser Whitethroat, *Sylvia curruca*, Koshimizu Town, first record

はじめに

コノドジロムシクイ *Sylvia curruca* はズグロムシクイ科 Sylviidae の鳥類で、イギリスやフランス中部、南東部を含む西ヨーロッパからシベリア北東部、モンゴル、中央スカンジナビア半島、イラン西部などユーラシア大陸の広い範囲で繁殖する。冬季はアフリカ、インド北部、アジア南西部にかけて渡り、越冬する(日本鳥学会 2012)。日本国内では迷鳥として1994年の北海道函館市における記録(和田・佐藤1998)を最初に、山形県、東京都、愛知県、三重県、石川県、

高知県、鹿児島県などで記録されている(日本鳥学会 2012)。北海道では前述の函館市における記録を含め、根室市および天売島において観察された記録がある(根室市教育委員会2005, 寺沢2008)。

筆者は2019年12月に小清水町において野鳥を観察中に本種を確認した。これまで、北海道網走地方において本種の飛来は確認されていないことから、ここに記録する。なお、鳥類の国際的な分類体系(Gill F, Donsker F & Rasmussen P(eds). 2021. IOC World Birdlist(V11.1), <https://www.worldbirdnames.org/>

図1. 観察地点位置図。

Fig. 1. The sighting position of Lesser Whitethroat in Abashiri district

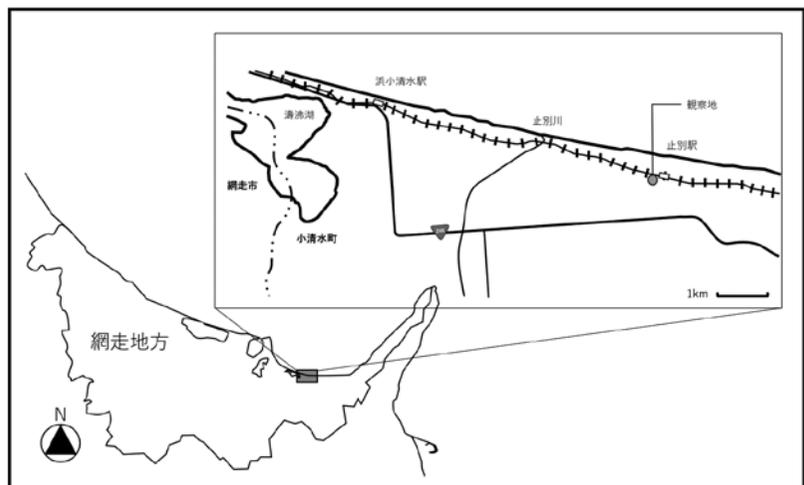




図2. ヒメリンゴの果実を啄むコノドジロムシクイ、2019年12月22日 渡辺義昭撮影. Fig. 2. The Lesser Whitethroat eating a fruit of Chinese Crab Apple on 22 Dec.2019.

new) においてはコノドジロムシクイの属名を *Curruca* とする見解があるが、本稿では現行の日本鳥学会 (2012) の記載に従い、*Sylvia* を採用した。

記録

2019年12月21日11時40分頃、筆者は北海道斜里郡小清水町字止別に位置する公園内 (43°55'17"N, 144°31'10"E, 図1) で、ハシブトガラ *Poecile palustris* とシジュウカラ *Parus minor* が、園内に植栽されたヒメリンゴ *Malus prunifolia* に止まり昆虫類を採食している行動を、双眼鏡 (15倍、口径50mm) を用いて観察していたところ、その中にシジュウカラ科の鳥類とは異なる個体を確認した。筆者は500mmのレ



図3. ニシキギの果実を啄むコノドジロムシクイ 2019年12月28日 城石一徹撮影. Fig. 3. The Lesser Whitethroat eating a fruit of Winged Spindle Tree on 28 Dec.2019. Whitethroat in Abashiri district

ンズを装着したデジタル一眼レフカメラを用いて、本個体を撮影した。本個体は同所で採餌をしていたハシブトガラと同等のサイズ (体長約13cm) であり、額から後頭にかけては灰色で、目先から耳羽にかけて暗褐色の過眼線を有していた。喉から腹部はやや褐色味を帯びた白色であり、上背はややオリーブ色味を帯びた灰褐色をしていた。脚は黒色であった。これらの特徴は、コノドジロムシクイとよく一致することから、本個体をコノドジロムシクイと同定した。

本個体を最初に発見した時点ではハシブトガラなどと同所で採食している行動を確認したが、それ以降の観察では特に他の鳥類種と行動を共にしている様子は見られず、単独で行動していた。本個体はヒメリンゴの樹上または地上で果実および種子を採食したり (図2)、同園内に植栽されるニシキギ *Euonymus alatus* の実を啄む行動が観察された (図3)。また、枝先でホバリングし、樹上にいる昆虫類を捕食する行動も見られた。同月29日には同園内でエダシャク亜科 *Ennominae* の幼虫を捕食する行動が観察された (図4)。園内には数本のヒメリンゴが植栽され、本個体はそれらを点々と飛び移り、定期的に園内のコロドトウヒ *Picea pungens* や公園敷地と隣接するヨシ原内で休息していた。観察中、本個体がウグイス *Cettia diphone* などに類似した「チャツ、チャツ」という地鳴きを発していた。

本個体は2019年12月31日まで同公園内で確認された。2019年12月はオホーツク管内で記録的な少雪



図4. エダシャク亜科の幼虫を採食するコノドジロムシクイ 2019年12月29日 安部亮佑撮影. Fig. 4. The Lesser Whitethroat eating a caterpillar of Ennominae on 29 Dec.2019.

であったため、積雪がなく地上採餌が可能であった。

本種はヨーロッパからシベリア西部にかけて生息分布する亜種 *Sylvia curruca curruca* や、シベリア北東部からアルタイ北部、モンゴル北部にかけて生息分布する亜種 *Sylvia curruca blythi*、ロシア南東部からカザフスタンやトルクメニスタン、モンゴル北西部にかけて生息分布する亜種 *Sylvia curruca halimodendri* などが知られる。また、本種は亜種間の変異が多様であること、他亜種との移行的形質を有すること、各亜種いずれにおいても季節的移動を行うことなどから、離れた距離からの観察や観察時期のみで本個体における亜種同定を行うことは非常に難しいとされる (Baker1988, Svensson1992, Beaman & Madge1998)。しかしながら、国内の先行文献にも示されるとおり、*S.c.blythi* の繁殖分布域がシベリア北東部と日本に近いことから (和田・佐藤1998)、今回観察した個体についても亜種 *S.c.blythi* である可能性が高いと考える。

謝辞

本稿を取りまとめるにあたり、安部亮佑氏、渡辺義昭氏には使用する写真を快く提供していただいた。高田令子氏には北海道内における本種の観察記録の情報提供にご協力いただいた。富沢直浩氏には本種が採食していた幼虫の同定にご協力いただいた。日本野鳥の会オホーツク支部長の川崎康弘氏には本種に関わる貴重な文献を提供していただいた。これら各氏に記して厚く感謝申し上げる。

引用文献

- Baker K. 1988. Identification of Siberian and other forms of Lesser Whitethroat. *Brit Birds* 81: 382-390.
- Beaman M. & Madge S. THE HANDBOOK OF BIRD IDENTIFICATION for Europe and the Western Palearctic. 1998. 675-676. Princeton University Press, Princeton, New Jersey.
- 根室市教育委員会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書 根室市教育委員会, 根室.
- 日本産鳥類記録委員会. 2005. 日本産鳥類記録リスト(6), *日鳥学誌* 54(2): 110-122.
- 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版, 290. 日本鳥学会, 三田.
- 日本野鳥の会オホーツク支部. オホーツク圏鳥類目録 2019. <http://www.wbsj-okhotsk.org/zukan/frame.html>, 2020年7月14日閲覧.
- Svensson L. 1992. Identification Guide to European Passerines. Fourth, revised and enlarged edition. British Trust of Ornithology, Thetford.
- 寺沢孝毅. 2018. 天売島鳥類目録 ver.2 天売島における鳥類の月別記録 1982.4 ~ 2018.10 313種. 20. 天売島ビジターセンター海の宇宙館, 羽幌町.
- 和田祥司・佐藤理夫. 1998. 日本初記録コノドジロムシクイについて. *鳥類標識誌* 13(1): 8-10.
- 渡部良樹・池長裕史. 2010. 東京都水元公園におけるコノドジロムシクイ *Sylvia curruca* の記録. *日本鳥学会誌* 59 (1): 84-87.